

令和8年度 中学3年 シラバス

□科 目	技術・家庭			
□授業時数	1時間／週 1学期は家庭，2・3学期は技術			
□教 材	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて(開隆堂)			
□学習到達目標	『材料と加工の技術』『生物育成の技術』『エネルギー変換の技術』『情報の技術』の4つの技術について学習し，実践的・体験的な活動を通して技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深めることができるようにする。そして技術に関わる問題を見いだして解決する力や実践的な態度を身に付け，よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指すことができるようにする。			
□成績評価基準	2学期末・3学期末の定期テスト，実習の成果，平常点(授業態度，ノートや課題の提出状況)			
□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	9月	生物育成 生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活と生物育成 <ul style="list-style-type: none"> ◇生活を支える生物育成 農業、畜産業、水産業、林業 ◎ 食料の生産と生物育成 <ul style="list-style-type: none"> ①作物の生育と栽培技術 <ul style="list-style-type: none"> ◇生育に必要な環境 ◇生育を妨げる環境 ◇さまざまな栽培方法 ◇作物の生育と必要な作業 ◇栽培計画と栽培記録 ◇食料の生産と農業問題 	場所：教室

令和8年度 中学3年 シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10月		②動物の飼育技術 ◇動物の家畜化 ◇動物を育てる技術 ◇家畜と生命倫理 ③水産生物を育てる技術 ◇水産資源の有効利用 ◇水産生物の養殖技術 ◇水産資源と世界の動向	
	11月	情報 コンピュータ実習	◎ 森林資源と生物育成 ◇森林の育成技術 ○森林資源の役割 ○人工林の育成技術 ◇森林資源の現状 ○森林面積の減少 ○持続可能な森林資源の利用 ◎ 生物育成技術と私たちの未来 ◇生物育成に関する今後の課題 ○食料生産の問題 ○森林破壊の問題 ○森林放置の問題 ◇技術の発達と生物育成 ○生物育成技術のデジタル化 ○生物育成と情報通信技術 ◎ 双方向通信のプログラム（実習予定時間：4時間） ◇双方向コンテンツとしてのWebサイトの作成 ・HTML ・CSS ・JavaScript	定期テスト② 場所：コンピュータ室
	12月			
	1月		◇マーサのおいしいパン屋さん ①カンバンを作ろう ②お店紹介を作ろう ③パンの紹介をしよう ◇焼き上がり時間を検索しよう ①双方向性のあるコンテンツ ②プログラミング制作(順次・分岐)	動画配信 オンライン教材の解説 レッスンごとに 理解度チェックと 小テストを評価
	2月		③プログラミング制作(ネットワーク連携・反復) ④プログラミング制作(デバッグ・改善)	実習の進行状況を確認して評価 定期テスト③
	3月			

令和8年度 中学3年 シラバス

□教科	技術・家庭			
□授業時数	1時間/週 1学期は家庭, 2・3学期は技術			
□教材	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生 (開隆堂)			
□学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活の基礎的な知識を理解し, 自分の消費生活を見直すことができるようにする。 消費者被害の現状や背景について理解をし, 自分ごととして捉え予防法や対処法を身につける。 			
□成績評価基準	定期テスト, 提出物, 平常点 (ワークノート, 授業態度, 忘れ物等)			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4月	自分の成長と家族・家庭生活 家庭生活と消費	<ul style="list-style-type: none"> マンダラチャート 消費生活のしくみ いろいろな購入方法 売買契約 いろいろな支払方法 	場所: 教室
	5月	消費者被害と消費者の自立	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の消費者被害 調理実習 (事前学習含む) 	場所: 教室 調理実習 場所: 家庭科室
	6月	消費者被害と消費者の自立	<ul style="list-style-type: none"> 消費者を支えるもの 消費者の権利と責任 	場所: 教室
	7月			定期テスト
	9月			